

IO2026: CTS降圧していないを解除したい

このアラームはクーラントによる配管内の圧力異常が原因で発生します。

配管内に溜まったクーラントを排出する必要があります。

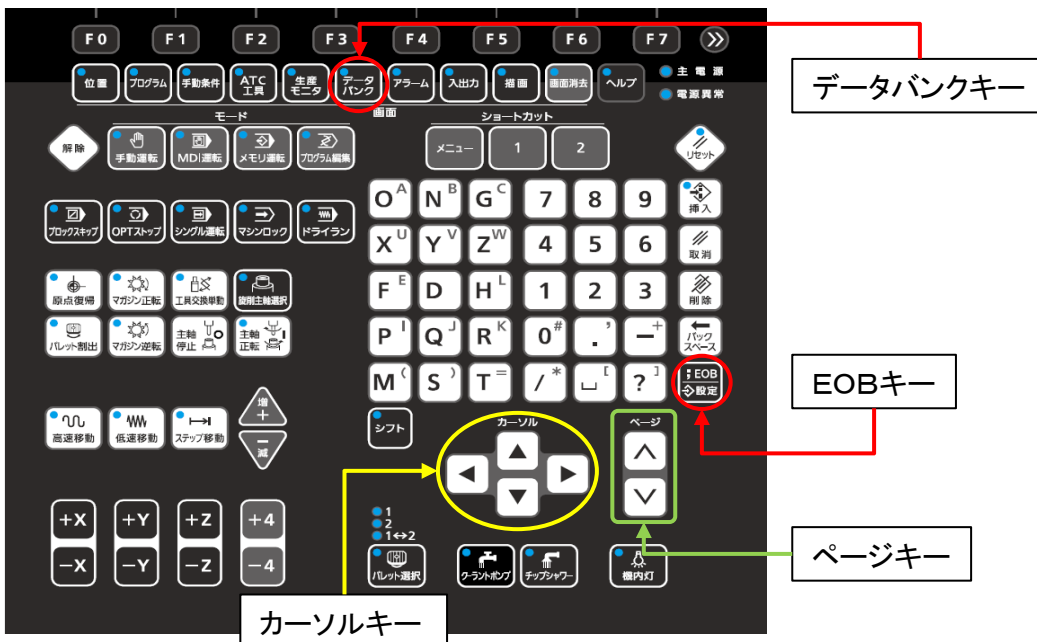
CTS非対応の工具／ホルダが原因でクーラントが溜まっている場合、簡単な解決方法として工具交換をすることで排出を行います。

アラームが発生した状態では機械を動作出来ないため、一時的にユーザパラメータの一部を変更します。

以下の手順はアラームを解除して機械を操作出来る状態にするための手順です。

根本的な対処方法ではないため、アラーム解除後はアラームが発生した原因を突き止め対処して下さい。

操作パネルのキー配置



以下の手順でユーザパラメータを変更します。

1. データバンクキーを押して下さい。
2. F4キー(ユーザパラメータ)を押して下さい。
3. F1キー(スイッチ1)を押して下さい。
4. 0138 CTS降圧確認遅延時間の値をメモして下さい。
5. 0138 CTS降圧確認遅延時間の値を0へ変更します。

変更手順: 0138 CTS降圧確認遅延時間へカーソルを合わせます。

次に操作パネルの数値キーで0を入力して下さい。

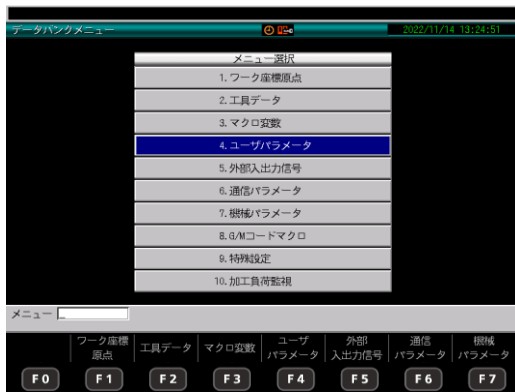
次に操作パネルの;EOB/設定キーを押して下さい。

次にF0キー(終了モード)を押して下さい。

次にF0キー(編集終了)を押して下さい。

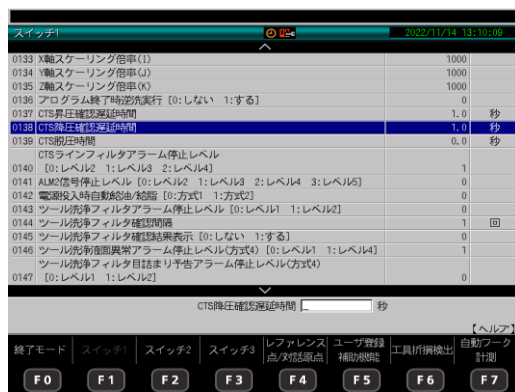
6. リセットキーを押して下さい。

以上の手順でアラームを解除し、手動運転モードで工具交換をしてください。



変更手順1

データバンクキーを押すとこの画面になります。
4. ユーザパラメータを選択、EOBキーを押す
または、F4キー(ユーザパラメータ)を押します。
変わった画面でF1キーを押します。



変更手順2-5

F1キー(スイッチ1)の画面です。
ページキー↓で138にカーソルを合わせます。
元の値をメモしてください。
メモしたら0を入力します。
EOBキーを押します。
F0キー(終了モード)を押します。
F0キー(終了終了)を押します。

元に戻す場合は0138へメモした値を入力し
EOBキーを押し、F0キーを2回押します。

工具交換を終えたら先ほど変更した 0138 CTS降圧確認遅延時間の値をメモした
値に戻し操作完了となります。

元の値へ戻す変更手順

1. データバンクキーを押して下さい。
2. F4キー(ユーザパラメータ)を押して下さい。
3. F1キー(スイッチ1)を押して下さい。
5. 0138 CTS降圧確認遅延時間をメモした値へ変更します。

変更手順: 0138 CTS降圧確認遅延時間へカーソルを合わせます。
次に操作パネルの数値キーでメモした値を入力して下さい。
次に操作パネルの;EOB/設定キーを押して下さい。
次にF0キー(終了モード)を押して下さい。
次にF0キー(編集終了)を押して下さい。

以上で元の値へ変更完了です。